

# 第16回 日本胎児治療学会学術集会

～ 徹底討論：胎児疾患の病態生理にせまる ～

## プログラム・抄録集

会長

中田 雅彦

東邦大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座 教授  
東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科

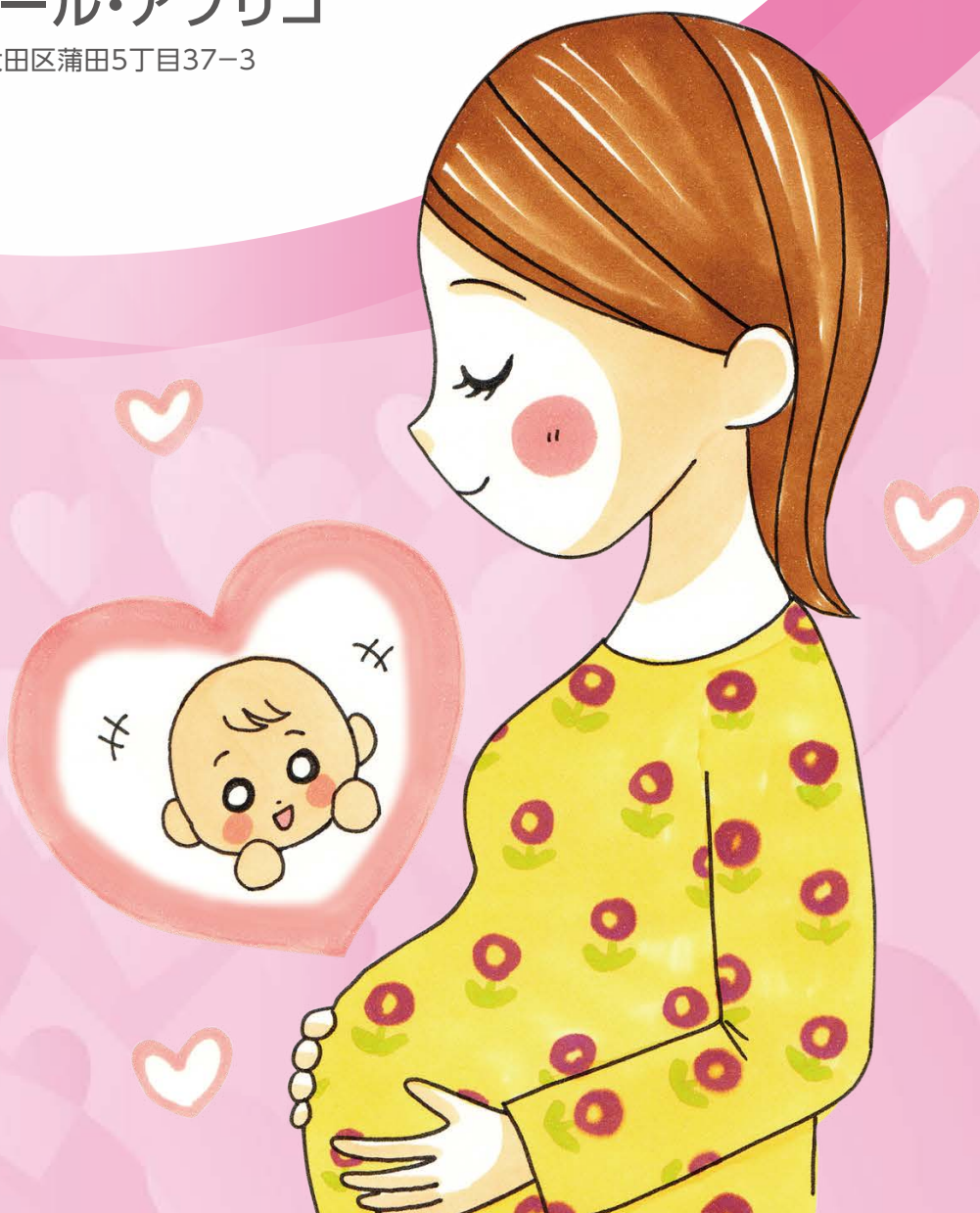
会期

2018年11月30日(金)、12月1日(土)

会場

大田区民ホール・アプリコ

〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目37-3



## 第16回日本胎児治療学会学術集会 開催のご挨拶

この度、第16回日本胎児治療学会学術集会を来る2018年11月30日(金)、12月1日(土)に、大田区民ホール・アプリコ(東京都大田区)にて開催することとなりました。

本学会は、お母さんのお腹の中の赤ちゃん(胎児)を一人の患者さんとして診断・治療するという“Fetus As a Patient”の主旨の元に、産婦人科、新生児科、小児外科、麻酔科、循環器科、泌尿器科や脳神経外科など、様々な分野の医師や看護師・助産師が参加し、胎児の治療のみならず、それを取り巻く多くの皆様が議論し、小さな命に明るい未来を授けるべく、発足しています。

2003年に第1回研究会として発足して以来、すでに15年の月日を経てきました。胎児治療の黎明期であった当初からすれば、双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下レーザー凝固術、胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャントチューブ留置術など、現在では保険適用として第一選択の治療法として施行されていることに、当初より関わってきた医師の一人として隔世の感があります。

これまで、産科医、小児外科医、小児科医(新生児科医)、麻酔科医の皆様が会長として様々なテーマで年に一回の議論の場を提供して下さいました。

今回のテーマは「徹底討論:胎児疾患の病態生理にせまる」と題し、これまで先端的な議論の多かった内容に関して、病態生理の観点から、疾患の理解と診断や治療法について、専攻医や医療スタッフを含めた対象に理解を深める場にできればと考えています。

特別講演はお二人の高名な先生をお招きしています。我が国のゲノム編集の研究をリードされている広島大学の山本卓教授に「ゲノム編集」という、次世代にはヒトへの応用の可能性を秘めた技術についてご講演いただく予定です。また、科学誌「ネイチャー」が主催するジョン・マドックス賞を受賞された京都大学の村中璃子先生に、子宮頸がんワクチン問題とその背景についてご講演いただく予定です。

第一日の夜には全国的に有名な羽根付き餃子のお店にて懇親会を予定しています。開催地の大田区蒲田は、東京都の城南地区に位置し、羽田空港や品川駅からのアクセスのよい立地で、下町風情の残った庶民的な場所です。気軽に楽しめる場所もたくさんありますので、是非多くの皆様にご参会頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

第16回日本胎児治療学会学術集会

会長 中田 雅彦

( 東邦大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座 教授 )  
東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科



## 交通のご案内

### 大田区民ホール・アプリコ

所在地 〒144-0052  
東京都大田区蒲田5-37-3

電話 03-5744-1600

FAX 03-5744-1599

最寄駅 JR京浜東北線  
東急多摩川線・池上線  
『蒲田』駅東口 徒歩3分  
京浜急行線  
『京急蒲田』駅西口 徒歩7分

#### 駐車場のご案内

施設名 大田区営アロマ地下駐車場

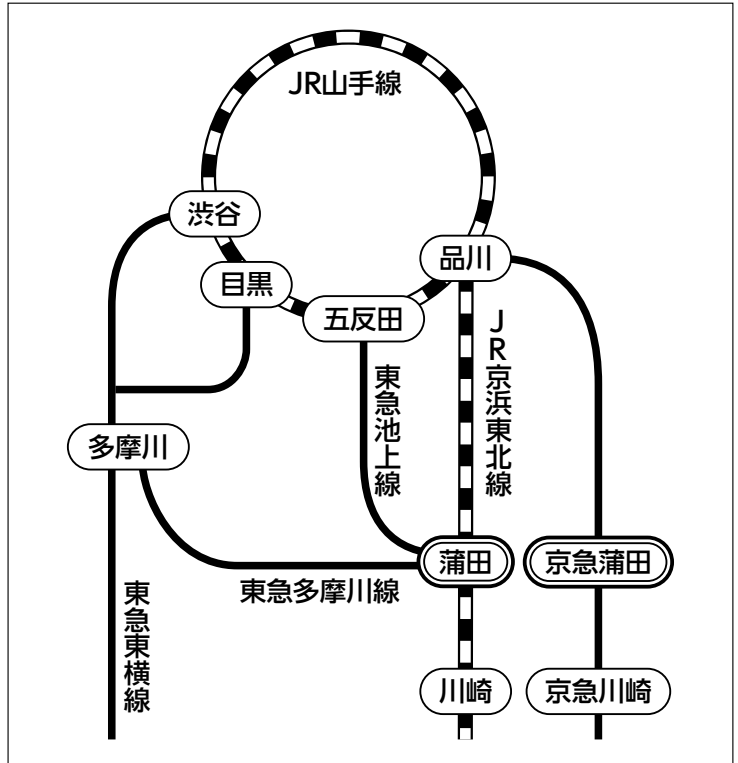
台数 297台

料金 100円/15分

対象車 全長5.3m以下  
全高2.0m以下

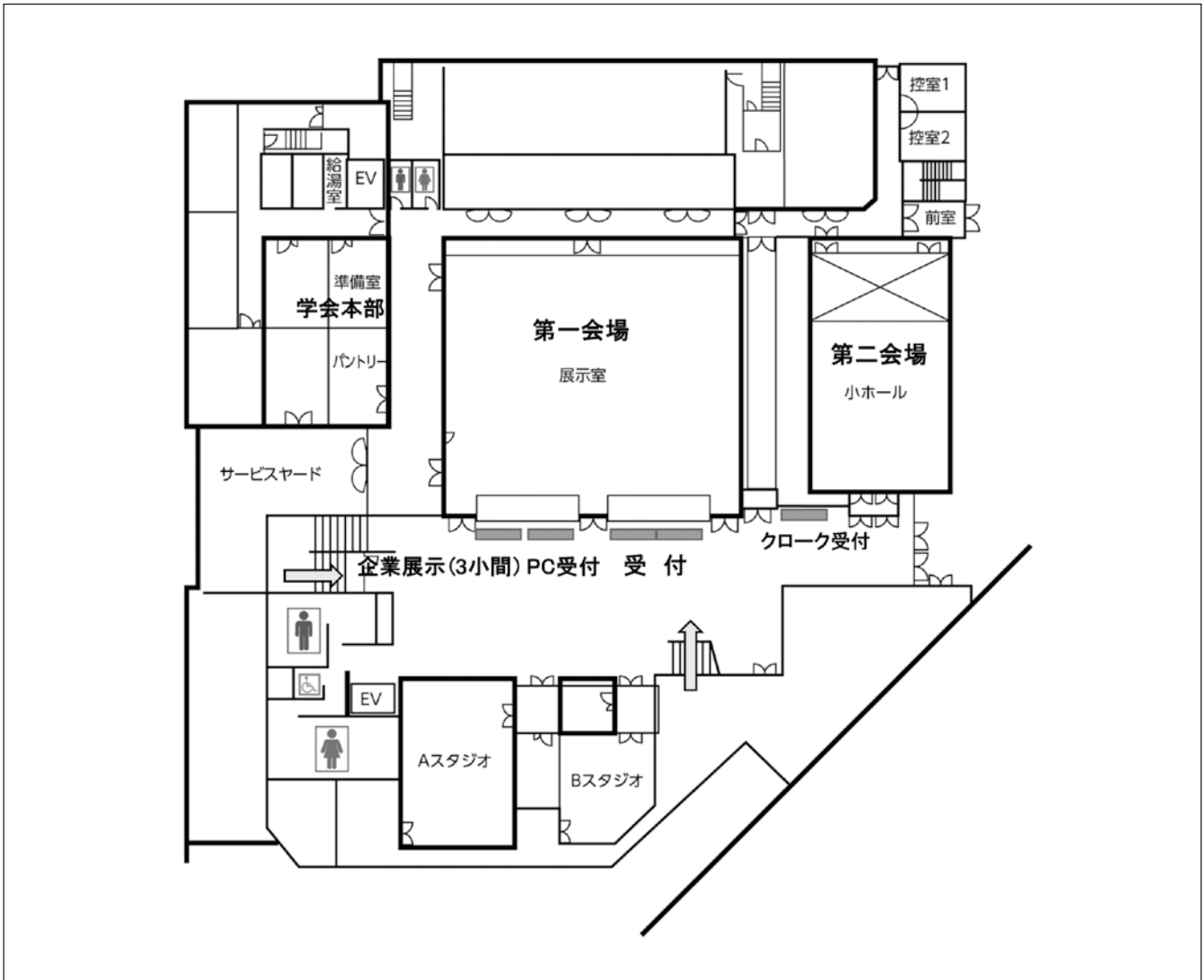
時間 9:00～23:00

電話 03-5703-2731



# 会場のご案内

## 大田区民ホール・アプリコ 地下1階



# ご案内

---

## 1. 参加者へのご案内

### (1) 参加受付

参加受付は当日受付のみです。参加受付で参加費と引き換えに参加証をお受け取りください。  
参加証にはお名前・ご所属をご記入いただき、会場内では必ずご着用ください。

受付時間:11月30日(金) 9:00～16:00

12月1日(土) 9:00～15:00

受付場所:大田区民ホール・アプリコ 地下1階 ラウンジ

### (2) 参加費

参加費のお支払いは、現金のみのお取り扱いとさせていただきます。予めご了承ください。

会 員:11,000 円

非会員:13,000 円

コメディカル・初期研修医:5,000 円

医学生・看護学生:無料

※医学生・看護学生の方は学生証をご提示ください

### (3) プログラム・抄録集

会員・非会員にかかわらず参加費を支払われて入場する際に全員に一部お渡しいたします。

別途購入希望の方は当日会場でお求めください。なお、数に限りがございますので予めご了承ください。

販売場所:大田区民ホール・アプリコ 地下1階 学術集会総合受付

販売価格:2,000 円

### (4) 研修会出席証明書

●日本産婦人科医会	研修シール
●日本周産期・新生児医学会	2単位
●特別講演1 新専門医制度婦人科領域	1単位
●特別講演2 新専門医制度小児科領域	1単位
●スイーツセミナー 新専門医制度共通(医療安全)	1単位

### (5) クローク

・貴重品、壊れ物、生鮮食品はお預かりできません。

・お預けになったお荷物は必ず当日中にお引き取りください。

開設日時:11月30日(金) 9:00～17:00

12月1日(土) 9:00～16:30

場 所:大田区民ホール・アプリコ 地下1階 クローク受付

(6) 企業展示、ドリンクコーナー

日 時:11月30日(金) 10:00～17:00

12月1日(土) 9:30～15:00

場 所:大田区民ホール・アプリコ 地下1階

(7) 会場利用にあたって

- ・会場内では、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ・会場内は、本学術集会在が許可した方以外の撮影・録音・録画は禁止となっております。予めご了承ください。
- ・会場内は、所定の場所を除き全て禁煙です。
- ・原則として会場内での呼び出しは行いません。会場内でご連絡が必要な方は、総合受付付近に掲示板がございますのでご利用ください。

(8) 会員懇親会のご案内

日 時:11月30日(金) 18:00～20:00

会 場:JR 蒲田駅東口 歓迎本店

〒144-0052

東京都大田区蒲田5丁目13-26

大田区立消費者生活センター

電話03-3730-7811

参加費:2,000円



(9) 関連会議のご案内

- ・幹事会

日 時:12月1日(土) 7:30～8:30

会 場:相鉄フレッサイン東京蒲田ビル2階バケツ「ミモザ」

- ・総 会

日 時:12月1日(土) 11:30～12:00

会 場:大田区民ホール・アプリコ 地下1階 小ホール

## 2. 座長へのご案内

- ・本学術集会の新たな取り組みとして、一般演題座長の先生による「Overview Lecture」をお願いしております。演題のテーマに沿った総論を10分で総括していただくようお願い申し上げます。
- ・ご担当セッションの開始時刻30分前までに参加受付を済ませていただき、会場内右手前方の次座長席にご着席ください。
- ・一般演題の発表時間は9分(発表5分+質疑応答4分)です。時間厳守の進行をお願いいたします。

## 3. 演者へのご案内

### (1) 発表形式、進行

- ・発表形式はPowerPointによるPCプレゼンテーションのみといたします。
- ・一般演題の発表時間は9分(発表5分+質疑応答4分)です。一般演題以外の発表時間は座長の指示に従ってください。
- ・座長によるOverview Lectureは10分です。

- ・本学術集会の新たな取り組みとして、一般演題座長の先生による「Overview Lecture」をお願いしております。疾患の一般的な概要等は省略していただき、【方法】や【症例】等の本題からご発表をお願い致します。
- ・発表時のスライドの送り(戻り)は、演台上の操作キーボード、マウスを使用して、演者ご本人により操作をお願いいたします。レーザーポインタも演台上に用意してあります。

## (2) PC受付

- ・ご発表されるセッション開始時刻の30分前までにPC受付でデータ受付および、試写をお済ませください。

受付日時:11月30日(金) 9:00～15:00

12月1日(土) 9:00～14:00

受付場所:大田区民ホール・アプリコ 地下1階ラウンジ

## (3) 発表データ

- ・当日、会場に用意しているコンピューターはWindowsのみとなります。
- ・発表データは、USBフラッシュメモリーまたはPC本体をお持ち込みください。

〈USBフラッシュメモリーをお持ち込まれる方へ〉

- ・アプリケーションソフトは以下のものをご用意いたします。【Windows PowerPoint 2007、2010、2013、2016】
- ・不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。
- ・フォントは、文字化けを防ぐため、OS標準フォントをご使用ください。  
(MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Times New Roman、Arial など)
- ・事前にご自身で、ウイルスチェックを必ず行ってください。
- ・発表後のデータは、学術集会事務局にて責任を持って消去いたします。

〈PC本体をお持ち込まれる方へ〉

- ・Macintoshでデータを作成された方、または動画を使用される方は、必ずPC本体をお持ち込みください。その際、電源ケーブル、ミニ D-sub15 ピン変換コネクタ、バックアップデータも併せてお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、省電力、パスワード等の設定は必ず解除してください。

## 4. 一般討論者へのご案内

- ・ご質問される方は予めマイクの前でご準備ください。
- ・スムーズなプログラムの進行にご協力をお願いいたします。

# 日程表

## 【1日目 11月30日(金)】

第一会場 (展示室)		第二会場 (小ホール)	
9:00	受付開始 9:00~ 9:40		9:00
9:30			9:30
9:40	開会の挨拶 9:40~ 9:50		
9:50			
10:00	一般演題1 胎児胸部疾患 座長：吉澤 穰治 吉澤 穰治 (Overview Lecture)		10:00
10:30			10:30
11:00	一般演題2 胎児不整脈 座長：稲村 昇 稲村 昇 (Overview Lecture)		11:00
11:30			11:30
12:00		ランチョンセミナー1 12:10~13:00 生殖外科における内視鏡手術 座長：田中 政信 演者：森田 峰人 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	12:00
12:30			12:30
13:00			13:00
13:10	一般演題3 多胎 座長：村越 毅 村越 毅 (Overview Lecture)	区民公開講座 13:30~14:30 ホルモン剤と女性の健康 座長：前村 俊満 講師：片桐 由起子	13:30
13:30			13:30
14:00			14:00
14:30	一般演題4 小児外科疾患 座長：北川 博明 北川 博明 (Overview Lecture)		14:30
15:00			15:00
15:30			15:30
16:00		特別講演1 15:40~16:40 ゲノム編集の医学分野での可能性 座長：中田 雅彦 講師：山本 卓	16:00
16:30			16:30
17:00			17:00

懇親会 (別会場) 18:00 ~ 20:00  
蒲田 歓迎本店 03-3730-7811



## 【2日目 12月1日(土)】

第一会場 (展示室)		第二会場 (小ホール)	
9:00	受付開始 9:00~ 9:30		9:00
9:30	一般演題5 前期破水、子宮内胎児発育不全 座長：田中 守 田中 守 (Overview Lecture) 9:30~10:07		9:30
10:00			10:00
10:30	一般演題6 研究・開発 座長：石井 桂介 石井 桂介 (Overview Lecture) 10:20~11:21		10:30
11:00			11:00
11:30		総会 11:30~12:00	11:30
12:00			12:00
12:30		ランチョンセミナー2 12:10~13:00 胎児心機能評価のこれまでとこれから 座長：市塚 清健 演者：松井 彦郎 共催：株式会社日立製作所	12:30
13:00			13:00
13:30		特別講演2 13:00~14:00 10万個の子宮とワクチン 座長：中田 雅彦 講師：村中 璃子	13:30
14:00			14:00
14:30		教育講演 14:00~15:00 新生児側から見た TTTS 座長：前野 泰樹 講師：與田 仁志	14:30
15:00			15:00
15:30		スイーツセミナー 15:00~16:00 胸腔-羊水腔シャント術のダブルバスケットカテーテル 市販後調査の中間解析 座長：左合 治彦 講師：高橋 雄一郎 共催：株式会社八光	15:30
16:00		閉会の挨拶 16:00~16:10	16:00
16:30			16:30
17:00			17:00

# プログラム

## 講演会場（第一会場（展示室））

開会の挨拶

11月30日（金）9：40～9：50

## 一般演題1 胎児胸部疾患

11月30日（金）9：50～10：54

座長：吉澤 穰治（東京慈恵会医科大学 小児外科）

- 1-1 出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアにおける、死亡症例の検討と今後の課題  
<sup>1)</sup>九州大学大学院 医学研究院 小児外科学分野  
○近藤 琢也<sup>1)</sup>、河野 淳<sup>1)</sup>、柳 佑典<sup>1)</sup>、江角 元史郎<sup>1)</sup>、松浦 俊治<sup>1)</sup>、田口 智章<sup>1)</sup>
- 1-2 胎児正中心を呈した胸腔内異所性腎合併先天性右横隔膜ヘルニアの一例  
<sup>1)</sup>九州大学病院 産婦人科  
○城戸 咲<sup>1)</sup>、猿渡 万里子<sup>1)</sup>、甲斐 翔太郎<sup>1)</sup>、中野 嵩大<sup>1)</sup>、蜂須賀 正紘<sup>1)</sup>、日高 庸博<sup>1)</sup>、加藤 聖子<sup>1)</sup>
- 1-3 出生前診断困難であった上部消化管閉鎖合併上気道閉鎖の二例  
<sup>1)</sup>国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科  
○前田 裕斗<sup>1)</sup>、杉林 里佳<sup>1)</sup>、林 彩世<sup>1)</sup>、小野寺 洋平<sup>1)</sup>、室本 仁<sup>1)</sup>、赤石 理奈<sup>1)</sup>、和田 誠司<sup>1)</sup>、  
左合 治彦<sup>1)</sup>
- 1-4 シェント術で胎児水腫を改善させ得ずMirror症候群の増悪から児を救命できなかった多房性  
Macrocystic CPAMの1例  
<sup>1)</sup>九州大学病院 産婦人科  
○泉 りりこ<sup>1)</sup>、城戸 咲<sup>1)</sup>、甲斐 翔太郎<sup>1)</sup>、中野 嵩大<sup>1)</sup>、蜂須賀 正紘<sup>1)</sup>、日高 庸博<sup>1)</sup>、加藤 聖子<sup>1)</sup>
- 1-5 胎児水腫に伴うMirror症候群11例の臨床経過  
<sup>1)</sup>大阪母子医療センター 産科  
○染谷 真行<sup>1)</sup>、川口 晴菜<sup>1)</sup>、石井 桂介<sup>1)</sup>、山本 亮<sup>1)</sup>、笹原 淳<sup>1)</sup>、金川 武司<sup>1)</sup>、光田 信明<sup>1)</sup>
- 1-6 胎児腹水を合併したCongenital pulmonary airway malformationに対して母体ステロイド投与が  
著効した一例  
<sup>1)</sup>東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科  
○窪田 麻美<sup>1)</sup>、佐久間 淳也<sup>1)</sup>、安部 来美<sup>1)</sup>、鷹野 真由実<sup>1)</sup>、長崎 澄人<sup>1)</sup>、大路 斐子<sup>1)</sup>、早田 英二郎<sup>1)</sup>、  
前村 俊満<sup>1)</sup>、片桐 由起子<sup>1)</sup>、中田 雅彦<sup>1)</sup>、森田 峰人<sup>1)</sup>

## 一般演題2 胎児不整脈

11月30日（金）11：00～11：55

座長：稲村 昇（近畿大学 小児科）

- 2-1 ベタメタゾンによる胎児心筋炎治療により出生できた胎児徐脈の1例  
<sup>1)</sup>近畿大学医学部附属病院 小児科 小児循環器内科  
○高田 のり<sup>1)</sup>
- 2-2 胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与に関する臨床試験：多施設共同介入試験  
<sup>1)</sup>日本胎児不整脈班  
○三好 剛一<sup>1)</sup>、前野 泰樹<sup>1)</sup>、左合 治彦<sup>1)</sup>、稲村 昇<sup>1)</sup>、安河内 聡<sup>1)</sup>、川滝 元良<sup>1)</sup>、堀米 仁志<sup>1)</sup>、  
與田 仁志、竹田津 未生<sup>1)</sup>、新居 正基<sup>1)</sup>、生水 真紀夫<sup>1)</sup>、賀藤 均<sup>1)</sup>、萩原 聡子<sup>1)</sup>、坂口 平馬<sup>1)</sup>、  
白石 公<sup>1)</sup>、上田 恵子<sup>1)</sup>、桂木 真司<sup>1)</sup>、濱崎 俊光<sup>1)</sup>、山本 晴子<sup>1)</sup>、池田 智明<sup>1)</sup>

- 2-3 抗SSA抗体による胎児房室ブロックの胎児治療に向けた新しい早期発見方法の提案  
<sup>1)</sup>聖マリア病院 新生児科、  
<sup>2)</sup>久留米大学 医学部 小児科、  
<sup>3)</sup>久留米大学 医学部 産婦人科  
 ○前野 泰樹<sup>1)2)</sup>、吉本 裕良<sup>2)</sup>、寺町 陽三<sup>2)</sup>、廣瀬 彰子<sup>2)</sup>、須田 憲治<sup>2)</sup>、堀之内 崇士<sup>3)</sup>、上妻 友隆<sup>3)</sup>、  
 吉里 俊幸<sup>3)</sup>
- 2-4 当院で経胎盤的薬物治療を行った抗SS-A抗体による胎児完全房室ブロックの4例  
<sup>1)</sup>福岡市立こども病院 周産期センター 産科、  
<sup>2)</sup>福岡市立こども病院 循環器科センター 循環器科  
 ○北代 祐三<sup>1)</sup>、杉浦 多佳子<sup>1)</sup>、小野 ひとみ<sup>1)</sup>、佐藤 由佳<sup>1)</sup>、住江 正大<sup>1)</sup>、中並 尚幸<sup>1)</sup>、月森 清巳<sup>1)</sup>、  
 漢 伸彦<sup>2)</sup>
- 2-5 ポンプ児に頻脈性不整脈を発症した一絨毛三羊膜三胎タイプTRAP sequenceの1例  
<sup>1)</sup>福岡市立こども病院 周産期センター  
 ○小野 ひとみ<sup>1)</sup>、住江 正大<sup>1)</sup>、漢 伸彦<sup>1)</sup>、杉浦 多佳子<sup>1)</sup>、佐藤 由佳<sup>1)</sup>、北代 祐三<sup>1)</sup>、中並 尚幸<sup>1)</sup>、  
 月森 清巳<sup>1)</sup>

### 一般演題3 多胎

11月30日(金) 13:10~14:23

座長:村越 毅(聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター)

- 3-1 当院における品胎以上の多胎妊娠における減胎術の早期安全性試験の立案とその顛末  
<sup>1)</sup>大阪大学 産婦人科、  
<sup>2)</sup>大阪大学医学部附属病院 胎児診断治療センター  
 ○遠藤 誠之<sup>1)2)</sup>、味村 和哉<sup>1)2)</sup>、木村 正<sup>1)</sup>
- 3-2 双胎間輸血症候群におけるHyperreactio luteinalisの頻度と臨床的特徴  
<sup>1)</sup>大阪母子医療センター  
 ○川口 晴菜<sup>1)</sup>、石井 桂介<sup>1)</sup>、中西 研太郎<sup>1)</sup>、染谷 真行<sup>1)</sup>、山本 亮<sup>1)</sup>、林 周作<sup>1)</sup>、光田 信明<sup>1)</sup>
- 3-3 無心体からの血流消失後にポンプ児が予後不良となったTRAP sequenceの2例  
<sup>1)</sup>大阪母子医療センター  
 ○川口 晴菜<sup>1)</sup>、石井 桂介<sup>1)</sup>、城道 久<sup>1)</sup>、山本 亮<sup>1)</sup>、林 周作<sup>1)</sup>、光田 信明<sup>1)</sup>
- 3-4 Selective IUGR type IIIと診断された後に臍帯動脈拡張期血流波形が変化した一絨毛膜二羊膜双胎妊娠の周産期予後  
<sup>1)</sup>大阪母子医療センター 産科  
 ○中西 研太郎<sup>1)</sup>、石井 桂介<sup>1)</sup>、山本 亮<sup>1)</sup>、川口 晴菜<sup>1)</sup>、林 周作<sup>1)</sup>、光田 信明<sup>1)</sup>
- 3-5 受血児に著明な羊水過多を認めたが、胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の適応とならなかった一絨毛膜二羊膜性双胎の2例  
<sup>1)</sup>鹿児島市立病院 産婦人科  
 ○戸田 薫<sup>1)</sup>、前田 隆嗣<sup>1)</sup>、小齊平 千世佳<sup>1)</sup>、三浦 美沙<sup>1)</sup>、上塘 正人<sup>1)</sup>
- 3-6 双胎間輸血症候群における胎児右室流出路狭窄に関する超音波学的検討  
<sup>1)</sup>福岡市立こども病院 周産期センター  
 ○住江 正大<sup>1)</sup>、小野 ひとみ<sup>1)</sup>、杉浦 多佳子<sup>1)</sup>、佐藤 由佳<sup>1)</sup>、北代 祐三<sup>1)</sup>、中並 尚幸<sup>1)</sup>、漢 伸彦<sup>1)</sup>、  
 月森 清巳<sup>1)</sup>
- 3-7 胎児鏡下レーザー凝固術施行後、母体出血性ショックとなり子宮摘出を要したTTTSの1例  
<sup>1)</sup>山口大学 医学部 産科婦人科  
 ○村田 晋<sup>1)</sup>

座長:北川 博明(聖マリアンナ医科大学 小児外科)

- 4-1 双胎一児死亡時の胎児輸血により生存児の心収縮改善を認めた1例  
 国立病院機構 長良医療センター 産科  
 ○岩垣 重紀、高橋 雄一郎、千秋 里香、浅井 一彦、小池 雅子、桂 大輔、安見 駿佑、古橋 円
- 4-2 胎児期に胎児水腫と凝固障害をきたした胎便性腹膜炎の1例  
 九州大学病院 産科婦人科  
 ○中野 嵩大、小林 裕介、甲斐 翔太郎、城戸 咲、蜂須賀 正紘、日高 庸博、加藤 聖子
- 4-3 -D-(バーディーバー)血液型不適合妊娠に対して血漿交換と胎児輸血を行い生児を得た症例  
 1)大阪大学 産婦人科、  
 2)大阪大学 腎臓内科、  
 3)大阪大学 輸血部、  
 4)大阪大学 小児科  
 ○味村 和哉<sup>1)</sup>、遠藤 誠之<sup>1)</sup>、土井 洋平<sup>2)</sup>、高橋 篤史<sup>2)</sup>、清川 知子<sup>3)</sup>、谷口 英俊<sup>4)</sup>、北島 康司<sup>4)</sup>、  
 富山 佳昭<sup>3)</sup>、猪阪 善隆<sup>2)</sup>、木村 正<sup>1)</sup>
- 4-4 胎児脊髄髄膜瘤の出生前診断と胎児治療の現状  
 1)国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター  
 ○室本 仁<sup>1)</sup>、赤石 理奈<sup>1)</sup>、杉林 里佳<sup>1)</sup>、小澤 克典<sup>1)</sup>、和田 誠司<sup>1)</sup>、左合 治彦<sup>1)</sup>
- 4-5 妊娠19週に胎児胸水穿刺を行った胎児右乳糜胸水の1例  
 1)聖マリアンナ医科大学 産婦人科学教室  
 ○倉崎 昭子<sup>1)</sup>、長谷川 潤一<sup>1)</sup>、原田 賢<sup>1)</sup>、古谷 菜摘<sup>1)</sup>、本間 千夏<sup>1)</sup>、三浦 彩子<sup>1)</sup>、五十嵐 豪<sup>1)</sup>、  
 近藤 春裕<sup>1)</sup>、鈴木 直<sup>1)</sup>
- 4-6 高度な脊椎弯曲を合併したプルーンベリー症候群の一例  
 1)聖隷浜松病院 周産期科  
 ○今野 寛子<sup>1)</sup>、加藤 恵一朗<sup>1)</sup>、曾我 江里<sup>1)</sup>、寺田 周平<sup>1)</sup>、松下 充<sup>1)</sup>、村越 毅<sup>1)</sup>

講演会場 (第2会場 (小ホール))

座長:田中 政信(東邦大学 医学部 産科婦人科学講座)

- LS-1 生殖外科における内視鏡手術  
 1)東邦大学 医学部 産科婦人科学講座  
 ○森田 峰人<sup>1)</sup>

共催:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長:前村 俊満(東邦大学 医学部 産科婦人科学講座)

- ホルモン剤と女性の健康  
 1)東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科  
 ○片桐 由起子<sup>1)</sup>

## 講演会場 (第二会場 (小ホール))

### 特別講演 1

11月30日 (金) 15:40 ~ 16:40

座長: 中田 雅彦 (東邦大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座)

- SL-1 ゲノム編集の原理と疾患研究への応用  
<sup>1)</sup> 広島大学大学院 理学研究科  
○山本 卓<sup>1)</sup>

## 講演会場 (第一会場 (展示室))

### 一般演題 5 前期破水、子宮内胎児発育不全

12月1日 (土) 9:30 ~ 10:07

座長: 田中 守 (慶應義塾大学 産婦人科)

- 5-1 羊水所見による監視を加えた羊水灌流療法の有用性についての検討  
<sup>1)</sup> 国立病院機構佐賀病院 総合周産期母子医療センター  
○宗 邦夫<sup>1)</sup>、野見山 亮<sup>1)</sup>、池田 正純<sup>1)</sup>、秀島 未紗子<sup>1)</sup>、津田 聡子<sup>1)</sup>、川崎 いずみ<sup>1)</sup>、小野 剛史<sup>1)</sup>、津村 圭介<sup>1)</sup>
- 5-2 子宮内胎児発育不全に対するタダフェルの経母体投与における多施設共同第II相試験 (TADAFER II)  
<sup>1)</sup> 三重大学 産科婦人科  
<sup>2)</sup> 昭和大学 産婦人科  
<sup>3)</sup> 名古屋大学 産婦人科  
<sup>4)</sup> 大阪大学 産婦人科  
○真木 晋太郎<sup>1)</sup>、田中 博明<sup>1)</sup>、古橋 美美<sup>1)</sup>、真川 祥一<sup>1)</sup>、二井 理文<sup>1)</sup>、金田 倫子<sup>1)</sup>、田中 佳世<sup>1)</sup>、仲村 将光<sup>2)</sup>、小谷 友美<sup>3)</sup>、遠藤 誠之<sup>4)</sup>、関沢 明彦<sup>2)</sup>、池田 智明<sup>1)</sup>
- 5-3 妊娠19週より単一臍帯動脈と胎児発育不全を認めたが、経過に増悪なく在胎37週に出生し、早期新生児死亡に至った一症例  
<sup>1)</sup> 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学  
○本間 千夏<sup>1)</sup>、長谷川 潤一<sup>1)</sup>、原田 賢<sup>1)</sup>、古谷 菜摘<sup>1)</sup>、三浦 彩子<sup>1)</sup>、倉崎 昭子<sup>1)</sup>、近藤 春裕<sup>1)</sup>、鈴木 直<sup>1)</sup>

### 一般演題 6 研究・開発

12月1日 (土) 10:20 ~ 11:21

座長: 石井 桂介 (大阪母子医療センター 産婦人科)

- 6-1 胎児先天性心疾患及び不整脈症例における羊水中ナトリウム利尿ペプチドの検討  
<sup>1)</sup> 国立循環器病研究センター 再生医療部、  
<sup>2)</sup> 国立循環器病研究センター 周産期・婦人科、  
<sup>3)</sup> 三重大学 産婦人科  
○三好 剛一<sup>1)</sup>、細田 洋司<sup>1)</sup>、吉松 淳<sup>2)</sup>、池田 智明<sup>3)</sup>
- 6-2 Extrauterine Environment for Neonatal Development (EXTEND)におけるヒツジ胎仔の循環および心機能評価  
<sup>1)</sup> 国立成育医療研究センター 胎児診療科、  
<sup>2)</sup> Center for Fetal Research, The Children's Hospital of Philadelphia、  
<sup>3)</sup> Fetal Heart Program, The Children's Hospital of Philadelphia  
○小澤 克典<sup>1)2)</sup>、和田 誠司<sup>1)</sup>、左合 治彦<sup>1)</sup>、Zhiyun Tian<sup>3)</sup>、Jack Rychik<sup>3)</sup>、Marcus Davey<sup>2)</sup>、Alan W. Flake<sup>2)</sup>

- 6-3 大動脈縮窄症例に対する母体酸素投与による胎児治療  
<sup>1)</sup>群馬県立小児医療センター 循環器科、  
<sup>2)</sup>大阪母子医療センター 小児循環器科、  
<sup>3)</sup>群馬県立小児医療センター 心臓血管外科  
 ○田中 健佑<sup>1)</sup>、石井 陽一郎<sup>2)</sup>、新井 修平<sup>1)</sup>、池田 健太郎<sup>1)</sup>、下山 伸哉<sup>1)</sup>、岡 徳彦<sup>3)</sup>、宮本 隆司<sup>3)</sup>、  
 小林 富男<sup>1)</sup>
- 6-4 双胎間輸血症候群受血児の心機能障害と羊水NT-proBNP濃度に関する検討  
<sup>1)</sup>東邦大学医療センター 大森病院 産婦人科  
 ○鷹野 真由実<sup>1)</sup>、中田 雅彦<sup>1)</sup>、長崎 澄人<sup>1)</sup>、大路 斐子<sup>1)</sup>、早田 英二郎<sup>1)</sup>、森田 峰人<sup>1)</sup>
- 6-5 共同研究による医療機器開発の試み  
<sup>1)</sup>地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 城南支所、  
<sup>2)</sup>地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 環境技術グループ、  
<sup>3)</sup>地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 表面・化学技術グループ  
 ○田中 実<sup>1)</sup>、玉置 賢次<sup>1)</sup>、井上 潤<sup>1)</sup>、平野 康之<sup>1)</sup>、石上 知子<sup>1)</sup>、梶山 哲人<sup>2)</sup>、安田 健<sup>3)</sup>、徳田 祐樹<sup>3)</sup>  
 注：本演題は学会長指定演題のため、発表10分、質疑応答5分で行います。

## 講演会場（第二会場（小ホール））

### 総会

12月1日（土）11：30～12：00

### ランチョンセミナー2

12月1日（土）12：10～13：00

座長：市塚 清健（昭和大学横浜市北部病院 産婦人科）

- LS-2 胎児心機能のこれまでとこれから  
<sup>1)</sup>東京大学 医学部 小児科  
 ○松井 彦郎<sup>1)</sup>

共催：株式会社日立製作所

### 特別講演2

12月1日（土）13：00～14：00

座長：中田 雅彦（東邦大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座）

- SL-2 10万個の子宮とワクチン  
<sup>1)</sup>京都大学大学院 医学研究科 ゲノム医療センター  
 ○村中 璃子<sup>1)</sup>

### 教育講演

12月1日（土）14：00～15：00

座長：前野 泰樹（久留米大学 医学部 小児科）

- EL-1 新生児科側から見たTTTS  
<sup>1)</sup>東邦大学 医学部 新生児学講座  
 ○興田 仁志<sup>1)</sup>

講演会場（第二会場（小ホール））

スイーツセミナー

12月1日（土）15：00～16：00

座長：左合 治彦（国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター）

SS-1 胸腔-羊水腔シャント術のダブルバスケットカテーテル市販後調査の中間解析

<sup>1)</sup>国立病院機構 長良医療センター 産科

○高橋 雄一郎<sup>1)</sup>

共催：株式会社八光

講演会場（第二会場（小ホール））

閉会の挨拶

12月1日（土）16：00～16：10



## 第16回日本胎児治療学会学術集会

～ 徹底討論：胎児疾患の病態生理にせまる ～